

〈目指す学校像〉

～そこに美がある～「挨拶・清掃・歌声」を大切にする学校

## 第75代 大東中学校生徒会本部スローガン



9月に生徒会本部役員の改選が行われ、生徒会本部も第75代となりました。これまでも生徒会本部では、大東中学校の校訓である「協同・進取・愛情」の精神に則り、生徒会としてのスローガンを掲げ、大東中生として目指す方向を示してきました。そこで、第75代の生徒会本部として決定したスローガンを横断幕にして、校舎西側の手すりに掲示しました。

大東中生一人一人の個性を大切にして、小さな努力を積み重ねていくことでますます輝いていく、そのようなイメージをもって考えたスローガンだと思います。個性とは、『誰からも認められる自分のよさ』を指します。お互いの良いところを見つけ合う、そのような大東中生でありたいものです。皆さんの努力で楽しく充実した学校生活を送りましょう。

## 大東中のシンボルに！「楷かいの木」の話

校舎南側の掲揚台の周囲に植木が何本かあります。その中に、「うるし科 カイノキ」というプレートが付いた一本の木があります。「カイノキ(楷の木)」皆さんは知っていますか。

「楷の木」は元々日本には存在せず、中国の山東省の孔子の墓所にあった楷の木の種を採取し日本に持ってきたのが最初という経緯があります。整然とした枝振りに葉の一枚一枚がきれいに左右にそろって出ているところから、文字の《楷書体》のようだという意味で「楷の木」と呼ばれているそうです。また、前述のように、この木は孔子の墓所に弟子が植えたという説から、《学問の木》とも言われ、埼玉県では旧制浦和高校の跡地(浦和北公園)や、久喜市や熊谷市の県立図書館(熊谷は過去にあった県立川越図書館から移植しました)などでも植樹されています。そのため学問の神様と言われる全国各地の天満宮にも広く植樹されている貴重な木です。また、落葉高木の楷の木は秋になると1枚1枚の葉が見事な紅葉の姿を見せてくれます。

このような貴重な楷の木ですが、昭和50年代半ばに埼玉県の姉妹都市である中国山西省との交流により山西省の孔子廟から7本の楷の木が埼玉県に贈られました。実は、そのうちの1本が大東中に植樹されたのです。このことからぜひ大東中学校の歴史や大東中生としての心構え、伝統の継承にも学びの象徴と言える楷の木を意識していきたいと考えます。大東中学校の学校教育目標「心豊かで 自ら学ぶ たくましい生徒」のように、これからの社会に必要な自ら主体的に学び、判断し、責任をもって行動する力を育むことを目指して、大東中学校がかげがえのない学び舎となるよう本校のシンボルとして知っておいてほしいと思います。これからも生徒一人一人が大きく成長していくことを心から願っています。

